



平成27年度事業及び 予算の現状は



齊藤 芳久 議員



予算化された事業を着実に 推進する

質問一 空家対策として固定資産税の特例制度を設けることは。

二 市民センター事業の将来目標。

三 市の農家の進むべき道は。

四 精神障害者の増加への対応は。

五 今後予定されている広域化に伴う国民健康保険の見直しは。

六 都市計画による地域整備は。

七 教育委員長と教育長を統一する教育改革について。

答弁一（市長） 現段階では国で税制改正案を審議中であり、特例制度を適用させることは難しい。

二 福祉や健康づくり事業等、関係課で連携を図りながら、地域の拠点施設を目指していく。

三 農産物の高付加価値化と多様な経営に重点を置き、消費者ニーズに合わせ、交通の利便性等、市の強みを生かした農業振興を図る。

四 心の健康や精神障害の理解と周知を進め、早期治療と社会復帰を図る。

五 都道府県が財政運営の責任主体となるが、賦課、徴収、保険証の交付等は引き続き市が担う。

六 市全体での優先度などを勘案して道路整備や藤金土地区画整理事業の見直しなどを行い、バランスよく整備を進める。

七（教育委員長） 責任が明確化され、市長との連携も強化される。



校舎の安全対策後、 検討を行う



小中学校のグラウンド 改修の状況

漆畑 和司 議員



質問一 過去における小中学校のグラウンド改修の時期について。

13年に新町小学校、22年に西中学校で実施。

二 経年後の状況、課題について。

三 今後の対応について。

なお、鶴ヶ島第二小学校、杉下小学校、長久保小学校、藤小学校及び富士見中学校は、グラウンド改修を行っていない。

答弁一（市長） 昭和61年に鶴ヶ島第一小学校、平成2年に鶴ヶ島中学校、5年に栄小学校、藤中学校及び南中学校、9年に南小学校、

二 時の経過とともに、表面に凹凸、いわゆる不陸が生じており、



鶴ヶ島中学校のグラウンド

各学校での整備や学校開放施設等使用団体の協力により、安全確保と機能維持に努めている。課題として、グラウンド舗装の実施や強風時の近隣への防じん対策などが必要であると認識している。

三 各学校のグラウンドは不陸や土質の劣化など、校舎や他の建築物と同様に老朽化が進んでいる。児童生徒の安全を優先した体育館の非構造部材の耐震化、長寿命化のための校舎屋上防水等改修の実施を優先した後、グラウンドの大規模改修について検討を進める。

◎**その他の質問** 市職員のやる気と負担（名刺の在り方。）